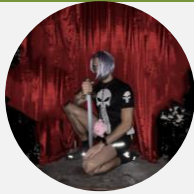


Saison Artist in Residence Online Workshop

セゾン文化財団では、オンライン・リサーチ・レジデンスの一環として、6名の参加アーティストによるアーティスト独自のダンスの実践やメソッド、リサーチのアイデアをシェアするオンライン・ワークショップを開催します。

Day1 2022年1月8日(土)



by Zander Porter
[USA/Germany]



Emoting:[webcam*webcam](^z)

定員：最大100名 17:00-18:00 [日本時間]

自分の顔を人工的に作られたサイボーグ/レプリカントの顔だと仮定して、再想像してみるワークショップ。顔の筋肉のエクササイズや参加者同士で行う表情のミラーリングなど一連のワークを通じて、ロボットのように出力される感情、またその伝わり方を観察する。



by Nanako Matsumoto
[Japan]



A lesson for dancing Imaginary Waltz

定員：20名 18:30-19:40 [日本時間]

想像上の誰か/何かとワルツを踊る「イマジナリー・ワルツ」のワークショップ。参加者はそれぞれの場所でテキスト音声聞きながら、ひとりでワルツを踊る。踊った後にその経験について共有し、テキストが参加者それぞれの踊りに与えた影響を「言葉が身体に与える重さ」から考える。

Day2 2022年1月15日(土)



by Pijin Neji
[Japan]



Howling

定員：20名 17:00-18:10 [日本時間]

パンデミック下での身体感覚の乱れと時間感覚の変化から抜け出すためのハウリング・アンサンブルを作るワークショップ。動物が自分の生存を仲間知らせるために遠吠えすることを手掛かりに、自身を回復させるために、遥か遠く届いていく声を探す試み。

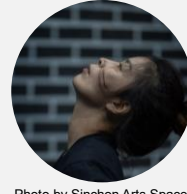


Photo by Sinchon Arts Space
by He Jin Jang
[Korea]



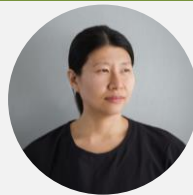
Photo by Popcon

Weekly Weekly #128

定員：20名 18:40-20:00 [日本時間]

「弱さ」に触れ、考えるワークショップ。2019年からスタートし、今回で128回目。弱さは、強さの反対でも欠点でも傷でもなく、私たちみんなが持つ特別なエネルギーが満ちた状態と捉えられる。弱さがパフォーマンスに不思議な瞬間をもたらす様子を参加者と一緒に観察する。

Day3 2022年1月22日(土)



by Pat Toh
[Singapore]



Air Ways

定員：20名 17:00-18:10 [日本時間]

空気が身体の中を移動する感覚に基づいて、自分の内部空間と外部環境の相互関係を探るワークショップ。その体験をドローイングで記録する。呼吸に耳を傾け、ハミングのように広がる共鳴を感じながら、深い呼吸が生み出すダイナミックな相互作用について考える。



by Zhen Yang
[China]



Moving out of the Body from History

定員：40名 18:40-20:10 [日本時間]

身体と記憶の関係性を考えるワークショップ。第一部では、ゆっくりとした動きを通して、身体の内側と外側の関係性に目を向け、無意識に作られた身体の痕跡とその仕組みを理解する。第二部では参加者が持つ身体の痕跡・記憶・経験・文脈を紐解きながら対話を試みる。

■参加アーティスト情報：https://www.saison.or.jp/orr_2021artists_j

■ワークショップ詳細：https://www.saison.or.jp/orr_2021ws_e (英語。申込の前に必ずご確認ください)

■申込方法：次のGoogle Formに必要事項をご記入の上、お申込みください。<https://forms.gle/UiKgTFsHUJzSd3px7>

■問い合わせ先：セゾン文化財団京橋事務所 03-3535-5566 residency@saison.or.jp

主催：公益財団法人セゾン文化財団

助成：文化庁令和3年度「アーティスト・イン・レジデンス活動支援を通じた国際文化交流促進事業」



申込はこちらから